

新規  
はるか日報  
2008年(H20年)  
11月27日(木)

**沖縄で生存者の証言を収めた映画  
「ひめゆり」県下初上映**

29日(土) デザインプラザHOFUで

デザインプラザHOFUで29日(土)10時半から14時からの2回、長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」が山口県初上映される。前売り券は一般千円、高校生以下500円。当日券はそれぞれ2百円増。後援は防府市教育委員会。第2次世界大戦末期、沖縄では住民を巻き込んだ地上戦が展開された。15歳から19歳の女学生たち。

生達も「ひめゆり学徒隊」として戦場動員され、献身的な看護活動の未多くが亡くなつた。この作品は柴田昌平監督が沖縄の親戚の家に泊まり込み、13年間にわたつて彼女達の証言にじっくりと耳を傾けるドキュメンタリーとなつてゐる。繰り返し映画やテレビ、舞台で取り上げられ、さまざまなイメージがつきまとう「ひめゆり」だ

が、監督が生存者と対面するに至ったのは表面的なことにすぎないと気づき、愕然としたという。ブレイガイドはアスピラート、遊食酒屋トピックはアスキー、山口情報芸術センター、周南市文化会館他。問合せは防府「ひめゆり」上映実行委員会(080-11948-7651)へ。

